

園だより

第4号

平成28年6月30日



ばんけいの自然の中で

教務担当 尾形 玲子

先日の親子山歩きでは保護者の皆様にもばんけいの山、自然を楽しんでいただけたことと思います。子ども達はこの自然の中で生活や遊びを通してたくさんの経験を積み重ねていきます。

子ども達は戸外での遊びを通して全身で季節を感じます。風、雨、雪、土、草花、石、虫等に触れ、音、色、温度、感触、味等、五感を使い自分の身体を通して知っていきます。そして、その感覚と一緒にいる友だちや教師と伝え合い、共感しています。

春の山菜採りでは“食べられるものを覚える”“味を知る”ことだけではなく、自分で採ったものを家族と一緒に食べる経験はとても大きいと考えます。子どもにとって山菜は苦手な味かもしれませんが、ですが家族が「ありがとう」「おいしいね」「また、採ってきてね」と言ってくれる喜びが意欲に繋がり、活動が楽しくなっていきます。

園舎の周辺には平地がほとんどありません。その環境で鬼ごっこやリレーごっこも楽しめます。入園した頃は傾斜に立つこともおぼつかない子もいますが、毎日の遊びや散歩を通して自分の身体をコントロールし、自在に動くことができるようになります。自然と体幹がしっかりとし、脚力がついてきます。

子ども達にとって自然の中で過ごすメリットは解放感を味わえることではないでしょうか。「今日は外で好きな遊び」と聞くと歓声が上がります。広い、開放的な戸外でおひさまの光を浴び、風を感じ、思い切り身体を動かすことのできる時間は欠かすことのできない大切な時間です。一日に一度は外の空気を吸って、気分転換をしたいのは大人も子どもも一緒です。

毎日、自然の中で過ごし、自然の大きさ、豊かさ、やさしさを感じながら、時に危険を知り、厳しさ、恐ろしさを知ります。これらは今すぐ、わかるものではないかもしれませんが、子ども達の体験、記憶として残り、いつか思い出してくれると思います。

身体を通しての記憶が一人ひとりに浸みわたり、大きな原動力となってくれることを願っています。

ばんけいの自然を大切に、そして、そこに自然があることに感謝し、元気をもらい、遊びや生活を楽しみ、成長していくための豊かな土台を作っていくと願っています。

子ども達が大人になった時に、ばんけいでの体験、記憶が自然を大切にする心など、人生の糧となってくれるよう私達はお手伝いしていきます。